

日本学術会議主催学術フォーラム



「今、復興の力強い歩みを-災後のエネルギー政策・産業復興を考える」

日時:平成24年7月3日(火) 13:00~17:30 場所:日本学術会議講堂 定員:先着 300名
申込先:日本学術会議事務局企画課学術フォーラム担当
〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34 TEL:03-3403-1250 FAX:03-3403-1260
申込みフォーム: (<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0003.html>)

開催趣旨

東日本大震災に関しては、本年4月に「学術からの提言-今、復興の力強い歩みを-」を発売し、まちづくり、産業振興・就業支援、放射線等の課題について、必要な提言を行ったところである。これらの提言では、当面の課題について、一定の整理を行うことができたが、その作成の過程において、今後、時間を費やして取り組むべき課題も明らかになった。特に、エネルギー供給と福島の復興については、多角的な分析を踏まえつつ、その将来像について検討することが求められている。そこで、本シンポジウムを開催し、エネルギー供給源として期待の大きい再生可能エネルギー、被災地における産業再生と雇用創造について、存在する問題点及び将来展望を明らかにするとともに、今後の学術会議の活動に結びつけていくこととする。

次第

13:00 開会・報告「東日本大震災復興支援委員会提言-学術からの提言」
大西 隆(日本学術会議会長)



13:30 第1部 エネルギー供給の長期ビジョン

司会 春日 文子(日本学術会議副会長)

セッションの趣旨説明

13:35 「エネルギー政策の選択肢」

北澤 宏一(日本学術会議連携会員、独立行政法人科学技術振興機構顧問)

13:55 「低炭素社会への日本の選択」

西岡 秀三(公益財団法人地球環境戦略研究機関研究顧問)

14:15 「エネルギー・環境戦略による経済・産業への影響」

秋元 圭吾(公益財団法人地球環境産業技術研究機構副主席研究員・システム研究グループリーダー)

14:35 「再生可能エネルギーと固定価格買取制度」

植田 和弘(京都大学大学院経済学研究科教授、調達価格等算定委員会委員長)

14:55 討論

15:10-15:30 (休憩)



15:30 第2部 東日本大震災からの「産業・雇用」復興支援

司会 小林 良彰(日本学術会議副会長)

セッションの趣旨説明

15:35 報告「東日本大震災被災地における産業再生と雇用創造」

大滝 精一(東北大学大学院経済研究科長・教授)

15:50 報告「福島における地域経済復興」(仮題)

山川 充夫(日本学術会議会員、福島大学学長特別補佐、うつくしまふくしま未来支援センター長)

16:05 報告「福島県における放射能汚染対策と『風評』被害問題-農地の汚染マップと食の安全検査体制-」

小山 良太(福島大学経営学類准教授)

16:20 討論

岩本 康志(日本学術会議会員、東京大学大学院経済研究科教授)

16:30 討論

城所 哲夫(日本学術会議特任連携会員、東京大学大学院工学系研究科准教授)

16:40 質疑応答

17:10-17:30 報告と閉会

「東日本大震災復興支援に向けた今後の学術会議の活動」

武市 正人(日本学術会議副会長)

